

Julabo Case Study

JULABO PRESTO A80t

20Lの反応容器を
+20℃から-40℃に冷却する。



目的:

このケーススタディでは20リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO A80tの冷却能力テストを実施。
A80tは、片道1mのメタルチューブでリアクターに接続されています。
+20℃から-40℃にクールダウンするようにプログラムされています。

試験条件:

使用機種	ユラボ社製 PRESTO A80t
冷却能力	+20℃ 1.2 kW 0℃ 1.2 kW -20℃ 1.1 kW
加熱容量	3.4 kW
バンドリミット	with
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	20Lガラス製反応容器 (Chemglass) 容器内にはエタノールを19L充填しています。
ジャケット充填量	8L
温度制御	外部制御(ICC)

環境:

室温	20℃
湿度	45%
電源	208 V / 60 Hz



試験結果:

次ページのグラフをご参照ください。: A80t冷却プログラムでは、+20℃~-40℃へ1時間40分オーバーシュート無しで実施。

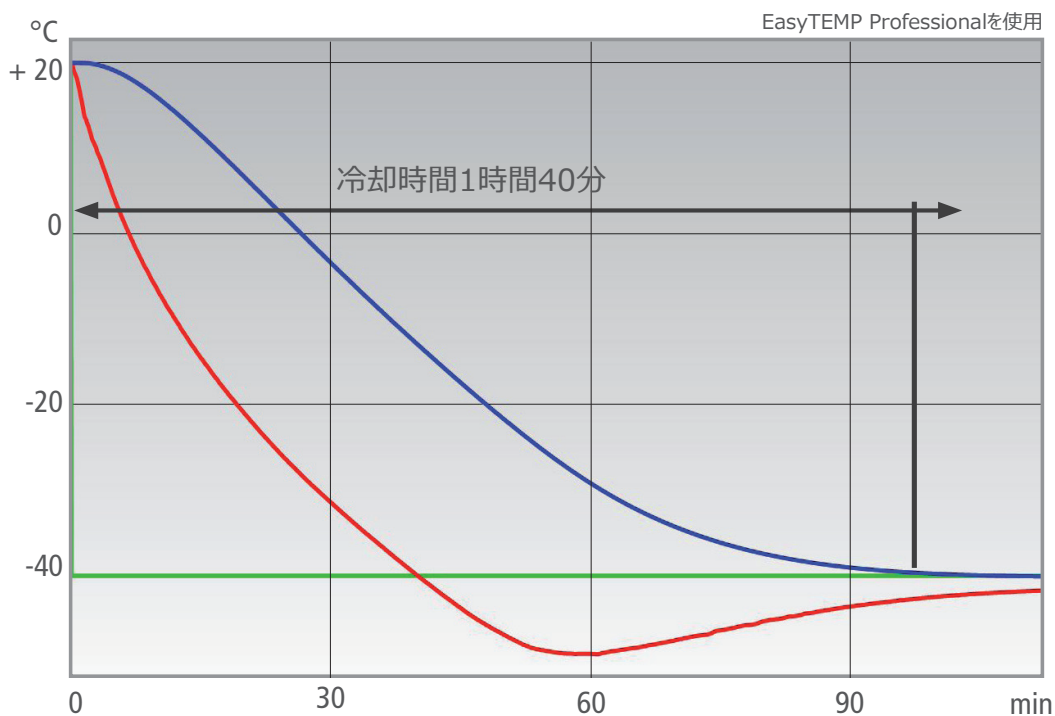
その他機能

テフロンコーティングされたPt100センサーを使用しています。

次のページにも
情報があります>>



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0